

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

【発行元】
東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL：019-623-5575
FAX：019-623-5576

工場・倉庫の物価高倒産と対策について

本記事では、工場・倉庫の物価高倒産と対策についてご紹介します。

物価高の高騰が続く中、重層下請構造の川下にある下請けの工場・倉庫では、収益圧迫により経営がまわらなくなり倒産に追いやられる「物価高倒産」が発生しています。

物価高倒産は、業種別では、①建設業、②運輸・通信業、③製造業となっています。

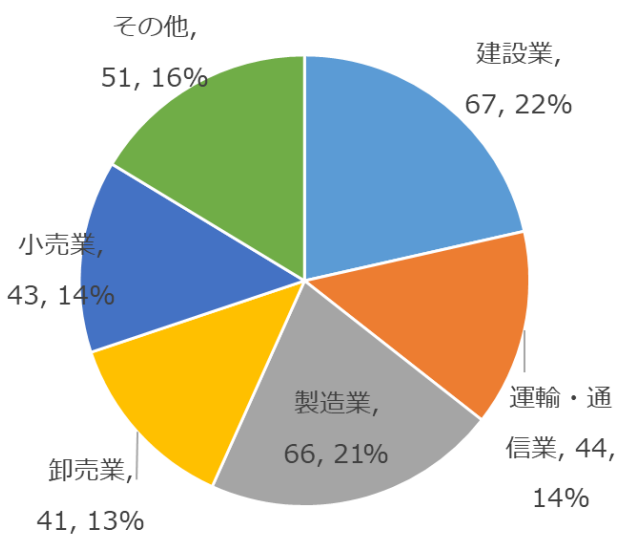
また、業種詳細別では、①運輸業、②工事（元請け）、③飲食料品製造が上位3位です。

運送・物流業界は、燃料費高騰、人件費上昇に伴う荷主への価格転嫁が喫緊の課題となっています。

荷主への価格転嫁の交渉ができない企業は、経営状況が行き詰まり、物価高倒産に追いやられている状況です。

また、製造コストが値上がりしている飲食料品製造も倒産件数が増えています。原材料価格の高止まりの影響は、今後しばらくは続いていく見込みです。

物価高倒産 業種別（2023年1～5月）



物価高倒産 業種詳細別上位（2023年1～5月）

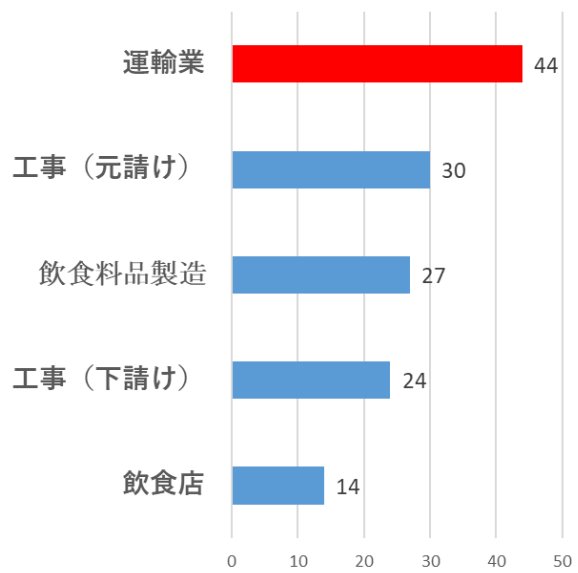


図.業種別の物価高倒産（2023年1～5月集計）

2023年以降の物価高騰の動向と対策とは？

2023年以降の資材価格の主な動向は、以下の通りです。

<2023年以降の資材高騰の主な動向>

☑ 原油・鉄鉱石の価格は、コロナ禍のピーク時から減少に転じています。鋼材価格の高騰は、先行きは上昇基調が収まったと見られます。

☑ 円安の影響は、以前続いています。輸入依存の資材は、価格の転嫁が続いている状況です。

☑ 電気料金は値上がりが続いています。①特別高圧、②高圧にて多くの電力を使用する法人の場合、経営を圧迫する要因となっています。

工場・倉庫の物価高騰時の対策

原材料やエネルギーコストの乱高下時代であるからこそ、DX化が有効と考えられます。

誰でもできるような、誰でも知っているような技術・ノウハウ・スキルではなく、その企業独自の技術・ノウハウ・スキルをDX化していくことで、持続性と安定性が作れるようになります。

付加価値とは、熟練したヒトの手が介在して差別化できるノウハウ・情報・スキルになります。

建物・設備をはじめ、熟練技術・熟練ノウハウ・熟練スキルのDX化により、利益を最大化できる生産体制をつくっていきましょう。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはこちら



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、高村)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで